

No. 101

製品名		アルゴン						国連番号		1006					
化学名		アルゴン						SAMPLE							
該当法法規対応・危険有害性															
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法						
類 別						指定可燃物	品 名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般高ガス	液化石油ガス	施行令第19条の12、13		
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類										
特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状					
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に触れると危険	河川への流入注意	固体	液体	気体	水溶性			
				常温	可燃時 火災時	水に接触									●
		●	●									●			
事故発生時の応急処置															
<p>① 車両を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害のないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)</p> <p>② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。</p> <p>③ 容器を覆っているシート等を取り除き、ガスを大気に放出、拡散させる。</p> <p>④ 酸素欠乏に注意する。</p> <p>⑤ 下記事項を荷主会社、地域防災組織等の関係機関へも連絡する。</p>															
緊急通報															
119(消防署)・110(警察署)・高速道路の非常電話															
[緊急通報例]															
1. いつ ○○時○○分頃															
2. どこで ○○市○○地区(国、県、市)道○○号線○○付近で															
3. なにが 『アルゴン(高圧ガス)』が															
4. どうした 漏れています。															
5. ケガ人は ケガ人がいます。(救急車をお願いします)/ケガ人はいません。															
6. 私の名前は ○○運送会社 ○○です。															
緊急連絡															
荷送会社						運送会社									
住 所						住 所									
電 話						平日・昼間									
						休日・夜間									
平日・昼間						休日・夜間									

製品名	アルゴン	国連番号	1006
化学名	アルゴン	SAMPLE	

災害拡大防止措置

<漏洩したとき>

- ① 通風をよくしてガスが滞留しないようにする。
- ② 防災工具を用い、風上でかつ漏えいしているガスの吹き出し方向の反対側より、容器バブル又は漏えいしている部分を静かに増締めし漏れを止める。
- ③ 漏れが止まらないときは、通風の良好な安全な場所で大気に拡散させる。

<周辺火災のとき>

- ① 容器を安全な場所へ移動する。
- ② 移動することが不可能な場合は、容器の破損防止のために容器及び周囲に散水する。

<救急処置>

- ① (火傷の処理)
水を用いて患部を冷やし、できるだけ早く医師の手当てを受ける。
- ② (酸欠の処理)
新鮮の空気のある場所に移す。呼吸困難な場合は酸素吸入を施す。
できるだけ早く医師の手当てを受ける。

特記事項

- ① 漏えいしたガスが滞留しそうな場所は、酸素欠乏防止のため関係者は立入禁止とする。
(アルゴンは空気より重くピット内等の低いところに滞留しやすい。)
- ② ガスを覆っているシート内に滞留しないように注意する。
- ③ 分解爆発性ガスなので、着火している容器の漏えいを防止した後も、容器内の温度が上昇していないことを、しっかり確認しておく必要がある。
- ③ 容器充てん圧力 : 35°Cで14.7MPa (150kg/cm²) [ゲージ圧力]
 相対密度(ガス比重) : 1.38 (空気を1とする。空気より重い。)
 色・臭い : 無色・無臭
 容器外面の塗料 : ねずみ色